

村上市
たかねまちづくり協議会
第6回定期総会議案書

平成29年4月16日(日)午後4時～ 朝日みどりの里食堂



たかねまちづくり協議会
事務局：村上市岩沢5611
電 話：0254-72-6881

まちづくりの理念

互いに支え合って固有の自然や歴史文化を守り、暮らしやすい地域環境をつくる。

まちづくりの将来像

- 美しい山村の景観を守る取り組みが行われ、それに伴って人々が集まっている。
- 伝統文化がしっかりと保存・継承・PRされる地域になっている。
- 人と地域とのつながりを大切にし、健康でいつまでも安心して暮らせる地域になっている。
- 地域内外の交流事業がたくさん行われ、若者の定住促進も進んでいる。
- 地域内の仕事が増え、雇用の場が増えている。

第1号議案

平成28年度たかねまちづくり協議会事業報告について

平成28年度たかねまちづくり協議会事業報告について、別紙のとおり承認を求めます。

平成29年4月16日 提出

平成29年4月16日 承認

平成28年度たかねまちづくり協議会事業報告書

区分	事業名・取組項目	実施時期	参加者	取組内容	効果・課題等
開発交流部	(1)食による住民交流事業				
	①郷土料理を味わう会	11.20(日)	77人 (料理協力者含む)	地域食材を活用した郷土料理を提供し地区内外の人と交流した。 参加費：1,000円	高根地域の郷土料理を内外にPRでき、交流も図られた。
開発交流部	(2)地域のお宝再発見事業				
	①お宝冊子製作	4月～2月	編集委員 4人	印刷業者との打ち合わせ、校正を繰り返し、1,000部印刷した。2月1日に高根地域全戸配布した。	2年の編集作業を経て後世に残せる冊子を完成させることができた。
環境安全部	(1)環境美化事業				
	①花いっぱい運動	4.16(土) 4.30(土) 8.27(土)	10人 12人 6人	高南保育園前の花壇整備、花植え、草刈りを行った。	沿道が華やかになり通る人の目を惹くようになった。
環境安全部	②クリーン作戦	4.24(日)	596人	高根地区一斉で集落ごとのゴミ拾いを実施した。ゴミ捨て禁止の看板を製作し次年度に立てる予定。	地域の環境美化意識が高まった。
健康福祉部	(1)高齢者元気事業				
	①地域の茶の間支援	4月～2月	8集落	6集落の地域の茶の間の講師謝礼、消耗品等を13件支援した。	高齢者の生きがい対策の一助となった。
	(2)地域ふれあい事業				
健康福祉部	①笑顔であいさつ運動	4.8～15 8.29～9.2 10.15	役員 30人	年度初め、夏休み明け、朝日みどり小学校作品展で児童の見守りとあいさつ運動を行った。	あいさつの大切さを伝え、見守りによって児童が安心して統合できた。
健康福祉部	②地域みんなでラジオ体操	7.28～8.28	181人	子どもたちが夏休みに行うラジオ体操に地域みんなで参加した。	子どもたちや集落の人とのふれあいと健康増進に役立った。
地域振興部	(1)地域振興事業				
	①情報誌の発行	6, 10, 1, 3月	高根地域全戸配布	たかねまちづくり協議会の取組状況のお知らせを年4回発行した。	まちづくり協議会の存在をアピールできた。
	②まちづくりふれあい交流広場	10.15(土)	参加者 390人	朝日みどり小学校との連携事業として、作品展の際にもちつきイベント、栃餅、山餅などのふるまいを行った。	高根地区住民の交流が図られた。まちづくり協議会の存在をアピールできた。
地域振興部	③高根フロンティアクラブ夏祭り参加	8.7(日)	役員 5人	高根フロンティアクラブ夏祭りにたかねまちづくり協議会ブースを設け、わたあめ、バルーンアートを行った。	高根フロンティアクラブとの交流及びまちづくり協議会の存在をアピールできた。

区分	事業名・取組項目	実施時期	参加者	取組内容	効果・課題等
協議会	(1) 研修事業				
	①新潟県ふるさとづくり大会 in 村上	11. 13(日)	20	新潟県内の行政や団体が一堂に会し研修や情報交換を行った。	県内他地域の事例を聞いて勉強や刺激になった。
	(2) 集落支援事業				
	①集落活性化支援事業	5月～3月	8集落	7集落9事業に助成金を交付した。	集落の伝統行事等開催の支援を行い、住民の交流や一体感醸成の一助となった。
	(3) その他事業				
	①あさひまつりの参画	10. 23(日)	10	朝日商工会などの団体と実行委員会で物産販売やステージショーを行った。まち協は郷土料理を担当。	朝日地域内外から多数の来場者があり朝日地区をPRできた。
②たかねまちづくりアンケート	12. 1～18	高根地域全戸	今後の高根地区のまちづくりの関するアンケート調査を実施した。		

平成28年度 集落活性化支援事業一覧

(単位：円)

集落名	事業名	事業の目的・内容等	決算額	交付額
高 根	高根区民 運動会	区民の健康増進と集落内の親睦を図る。赤・黄・白の3組に別れ、ジュース入れ、玉入れ・ムカデリレー等の得点競技の他、パン食い競争・各種団体レース等を行う。 ※高根区民ほか：280人	143,974	25,000
	高根サマー フェスティバル	区民及び帰省客のふれあいの場を設け親睦を深める。盆踊り・餅まき・お楽しみ抽選会などを実施。 ※高根区民、帰省客：300人	57,027	25,000
関 口	仮装盆踊り大会	関口の盆踊りを楽しんでもらい、最後にたくさんの景品を持って帰ってもらった。 ※関口区民、帰省者：200人	53,165	25,000
	関口集落活性化 事業	集落の活性化を図るとともに荒城山、三吉様の遊歩道を整備し、集落民が地元文化歴史等に関心を持ってもらうことと、安全確保を図った。 ※活性化委員：10人	51,900	25,000
黒 田	黒田区敬老会	歴史・文化を継承し、家庭を慈しみ、今の豊かな集落を築いてくれた敬老者の長寿を祝う。 ※事業対象者：70人 ※参加予定人数：26人	279,678	50,000
中 原	敬老祝賀会	高齢の方に感謝と敬意を表し、長寿を祝う。保育園児の踊り、マジックショー、カラオケ等で楽しんでもらった。 ※参加人数：124人	275,973	50,000
朝日中野	世代交流納涼祭	集落住民の交流活動を通して、親睦を図り集落の一体感を醸成する。 バーベキュー、飲物のふるまい、カラオケ、花火を行う。 ※朝日中野区住民：65人	62,339	25,000
薦 川	視察研修	集落旅行により、住民の親睦を図り、集落の一体感を醸成する。JAえちご上越、旬菜交流館などを視察した。 ※薦川集落民：34人	375,824	50,000

集落名	事業名	事業の目的・内容等	決算額	交付額
岩 沢	岩沢集落敬老会	集落をあげて敬老精神を理解し、長年集落の発展のために尽力したお年寄りの労をねぎらう。 踊り、紙芝居、カラオケで楽しんだ。 ※事業対象者：123人 ※参加者：70人	297,758	50,000
合 計			1,597,638	325,000

第2号議案

平成28年度たかねまちづくり協議会収支決算について

平成28年度たかねまちづくり協議会収支決算について、別紙のとおり承認を求めます。

平成29年4月16日 提出

平成29年4月16日 承認

収入

単位：円

区分	決算額	予算額	比較	説明
1 地域まちづくり交付金	2,243,000	2,243,000	0	市からの交付金 2,243,000
2 繰越金	311,037	311,037	0	前年度繰越金 311,037
3 繰入金	1,150,473	1,150,373	100	積立金解約による繰入金 1,150,473
4 雑入	118,332	25,963	92,369	郷土料理を味わう会参加費 68,000 あさひまつり売上分配金 19,920 冊子売上料 30,400 預金利子 12
合計	3,822,842	3,730,373	92,469	

支出

単位：円

区分	事業	決算額	予算額	比較	説明
1	開発交流経費(開発交流部)	1,544,957	1,480,373	64,584	
	1 食による住民交流事業	338,435	260,000	78,435	郷土料理を味わう会経費 338,435
	2 地域のお宝再発見事業	1,206,522	1,220,373	△ 13,851	地域のお宝冊子製作経費 1,206,522
2	環境安全経費(環境安全部会)	250,799	300,000	△ 49,201	
	1 環境美化事業	250,799	300,000	△ 49,201	クリーン作戦経費 130,185 花いっぱい運動経費 50,456 看板製作経費 70,158
3	健康福祉経費(健康福祉部会)	203,640	250,000	△ 46,360	
	1 高齢者元気事業	54,000	80,000	△ 26,000	地域の茶の間支援経費 54,000
	2 地域ふれあい事業	149,640	170,000	△ 20,360	あいさつ運動、ラジオ体操経費 149,640
4	地域振興経費(地域振興部会)	493,933	480,000	13,933	
	1 地域情報紙発行事業	251,640	230,000	21,640	たかねまちづくり通信印刷費 190,080 市民アンケート集計結果報告 61,560
	2 地域振興事業	242,293	250,000	△ 7,707	高根天蓋高原夏祭出店経費 28,465 ふれあい交流広場経費 213,828
5	組織運営経費	660,285	730,000	△ 69,715	
	1 報償費	229,000	200,000	29,000	協議会役員報償(34名) 196,000 講師等謝礼 33,000
	2 旅費	0	150,000	△ 150,000	視察研修旅費 0
	3 需用費	217,815	150,000	67,815	消耗品費、食糧費 217,815
	4 役務費	1,350	20,000	△ 18,650	振込手数料 1,350
	5 使用料及び賃借料	0	10,000	△ 10,000	会場借り上げ料 0
	6 備品購入費	150,120	100,000	50,120	かき氷機 85,320 デジタルカメラ 64,800
	7 負担金	62,000	100,000	△ 38,000	あさひまつり負担金 50,000 朝日地区まち協情報交換会 12,000
6	集落活動支援経費	325,000	410,000	△ 85,000	
	1 集落活性化支援事業	325,000	400,000	△ 75,000	集落行事への助成金 325,000
	2 役務費	0	10,000	△ 10,000	振込手数料(組織運営費から支出)
7	基金積立金	0	0	0	
	1 お宝冊子編集基金積立金	0	0	0	
8	予備費	0	80,000	△ 80,000	
	1 予備費	0	80,000	△ 80,000	予備費
合計		3,478,614	3,730,373	△ 251,759	

収入合計 3,822,842 支出合計 3,478,614 次年度繰越金 344,228 円

積立金

名称	増加	減少	現在高	説明
お宝冊子編集基金積立金	0	1,150,473	0	冊子製作のため取り崩したものを。

様式第6号（規則第11条関係）

積立金台帳

積立金の名称	お宝冊子編集基金				
積立の目的	たかねまちあるき大作戦で再発見したお宝をまとめ冊子をつくり、高根地域区全世帯に配布する。				
積立開始年月日	平成25年3月27日				
積立終了年月日	平成28年3月30日				
保有方法	定期預金証書				
異動年月日	異動事由	増加額	減少額	現在高	備考
H25. 3. 27	設置	300,000		300,000	
H26. 3. 28	利子	61		300,061	
H26. 3. 28	積立	300,000		600,061	
H27. 3. 30	利子	121		600,182	
H27. 3. 30	積立	300,000		900,182	
H28. 3. 30	利子	191		900,373	
H28. 3. 30	積立	250,000		1,150,373	
H28. 12. 19	利子	100		1,150,473	
H28. 12. 19	取り崩し		1,150,473	0	
	以下余白				

様式第8号

備品台帳

No.	分類	物品	規格	購入日	価格	購入先	保管場所	備考
1	事務機器	デジタルカメラ		H25.3.5	18,800	(株)ノジマ	朝日支所 地域振興課	
2	机、イス	机①	RET-1850	H28.3.25	16,740	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
3	机、イス	机②	RET-1850	H28.3.25	16,740	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
4	机、イス	机③	RET-1850	H28.3.25	16,740	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
5	机、イス	机④	RET-1850	H28.3.25	16,740	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
6	机、イス	机⑤	RET-1850	H28.3.25	16,740	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
7	その他	綿菓子器	CA-7型	H28.3.25	88,128	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
8	その他	クイックシェード 300UV- S(タープテント)	M-3281	H28.3.25	24,840	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
9	その他	かき氷機	初雪 HC-S32A	H28.8.18	85,320	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
10	事務機器	デジタルカメラ	EOS kissX7	H29.2.16	64,800	合資会社 ほんぼ	朝日支所 地域振興課	
11		以下余白						
12								
13								
14								
15								

監査報告書

たかねまちづくり協議会規約第18条第2項の規定に基づき、平成28年度たかねまちづくり協議会収支決算について監査を実施しましたので報告します。

監査の結果

- (1) 収入支出の証拠書類及び貯金通帳を照合した結果、誤りなく適正に処理していると認めます。
- (2) 事業報告書は、たかねまちづくり協議会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

平成29年3月31日

監事 板垣 一利 

監事 宇鉄 久美子 

第3号議案

たかねまちづくり協議会規約の改正について

たかねまちづくり協議会規約の改正について、別紙のとおり承認を求めます。

平成29年4月16日 提出

平成29年4月16日 承認

たかねまちづくり協議会規約

平成24年3月25日制定

(目的)

第1条 本会は、地域の個性や課題に応じた活性化対策を高根地域に暮らす住民がお互い知恵を出し、互いに支え合って固有の自然や歴史文化を守り、暮らしやすい地域環境をつくることを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、たかねまちづくり協議会と称する。

(事務所)

第3条 本会の主たる事務所は、村上市岩沢5611番地「村上市朝日支所」内に置く。

(事業)

第4条 本会は、第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 地域の課題解決、地域振興及び住民交流に関すること。
- (2) 健康及び福祉の増進に関すること。
- (3) 安全及び安心に関すること。
- (4) 環境の保全及び改善に関すること。
- (5) 地域資源の有効活用に関すること。
- (6) 地域の産業振興に関すること。
- (7) コミュニティビジネス等地域経営に関すること。
- (8) その他、まちづくりに関し、特に必要なこと。

(構成員)

第5条 本会の構成員は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 高根地域に居住する住民
- (2) 高根地域で事業を実施する個人もしくは法人
- (3) 高根地域で活動する各種団体

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|-----------------|--------------|
| <u>(1) 会長</u> | <u>1名</u> |
| <u>(2) 副会長</u> | <u>2名</u> |
| <u>(3) 事務局長</u> | <u>1名</u> |
| <u>(4) 理事</u> | <u>30名以内</u> |
| <u>(5) 監事</u> | <u>2名</u> |

2 役員は、構成員の中から評議委員会が推薦し、総会の承認を得るものとする。

(役員職務)

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 事務局長は、本会の事務及び事務局を総括する。
- 4 会計は、本会の会計業務を総括する。
- 5 理事は、本会の円滑な運営に努めるとともに、いずれかの専門部に属し活動する。

6 監事は、本会の事業及び会計の執行状況を監査し、総会に報告する。

(役員任期)

第8条 役員任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補欠により選出された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(代議員)

第9条 構成員に代わって総会に出席する代議員を置く。

2 代議員は、「別表 - 1」により構成員の中から各集落の区長が選出する。

3 代議員は総会において、役員会が提案する議題を審議し、議決する。

4 代議員任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

5 補欠により構成員から選出した代議員任期は、前任者の残任期間とする。

6 役員は代議員になることができない。

(会議)

第10条 本会に次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 役員会

(3) 評議委員会

(4) 専門部会

(総会)

第11条 総会は、代議員をもって構成する本会の最高議決機関であり、本規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために必要な事項を審議決定する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

3 通常総会は、毎年度1回開催し、臨時総会は、会長が必要と認めたとき、又は、代議員の2分の1以上の請求があった場合に開催するものとする。

4 総会は、委任状を含めた代議員の2分の1以上の出席により成立するものとする。なお、委任状により議決権を委任した代議員において、受任者が特定されないものは、議長に委任したものとみなす。

5 総会の議長は、代議員の互選によるものとする。

6 総会の議事は、出席した代議員の過半数で議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 総会は、この規約に定める事項のほか、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1) たかねまちづくり計画の策定及び変更に関する事。

(2) 規約の制定及び改正に関する事。

(3) 役員承認に関する事。

(4) 年度事業計画、事業報告、予算及び決算に関する事。

(5) その他、重要事項に関する事。

(総会議事録)

第12条 総会議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 代議員の現在数及び出席者数(表決委任者を含む)

(3) 開催目的、審議事項及び議決事項

(4)議事の経過の概要及びその結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録は、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名押印し、事務所に備え付けておかなければならない。

(役員会)

第13条 役員会は、総会に付議する事項及び本会の運営に関する事項を審議、決定する。

2 役員会は、会長、副会長、事務局長、会計及び理事をもって構成し、会長が必要に応じ招集し、議長となる。

3 役員会は、構成する役員のうち2分の1以上の出席により成立するものとする。

4 役員会は、本会の運営で緊急を要する重要事項に限り、総会の議決を得ず、執行することができる。

ただし、その経過は、総会に報告するものとする。

(評議委員会)

第14条 評議委員会は、各集落区長で構成し、本会役員推薦及び本会の運営に係る助言を行う。

2 評議委員会は、会長又は評議委員の求めに応じ、開催することができる。

(専門部会)

第15条 専門部会は、総会で決定された方針に基づき事業を実施するものとし、**役員会の承認で設置することができる。**

2 専門部会は、本会の構成員で構成する。

3 専門部会には、部長及び副部長を置く。

4 部長は、専門部会を代表し会務を総括する。

5 副部長は、部長を補佐し、部長が事故あるとき又は部長が欠けたときは、その職務を代行する。

6 専門部会は、必要に応じて部長が招集する。

(事務局)

第16条 本会の円滑な運営及び事業実施に資するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長及び事務局員を置く。

3 事務局長は、会務及び会計を掌握する。

4 事務局員は、事務局長を補佐し、本会の事務及び会計事務を処理する。

(会計)

第17条 本会の運営等に係る経費は、地域まちづくり交付金及びその他収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

3 年度開始後に予算が総会において議決されていない場合においては、会長は、総会において予算が議決される日までの間は、前年度の予算を基準にして収入支出をすることができる。

(監査)

第18条 会長は、事業年度終了後、事業報告書、収支決算書及び積立金台帳を作成して監事に提出し、その監査を受けなければならない。

2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を総会に提出しなければならない。

(規約の変更)

第19条 この規約は、総会において総会出席者の4分の3以上の議決を得なければ変更することはできない。

(書類及び帳簿の備付け)

第20条 本会の主たる事務所には、本会の事業実施に係る書類、収入及び支出に関する証拠書類並びに帳簿等活動に関する全ての書類を備え付け、公開するものとする。

(個人情報保護の取扱い)

第21条 本会が各種取組みを推進するため必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、適正に運用するものとする。

(その他)

第22条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が役員会に諮り、別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成24年3月25日から施行する。
- 2 本会設立時の役員任期は、第8条の規定に関わらず、本会設立の日から始まり、平成25年度の通常総会で新役員が承認されるまでの期間とする。

一部改正 平成25年4月21日

一部改正 平成29年4月16日

別表 - 1

代議員の選出について

1 定員

(1) 各集落割り

集落	代議員数
高根	7人
北大平	3人
関口	6人
黒田	5人
中原	6人
朝日中野	3人
薦川	3人
岩沢	7人
総計	40人

2 選出方法

(1) 各集落からの推薦による。

たかねまちづくり協議会規約改正新旧対照表

旧	新
第1条～第7条(略)	第1条～第7条(略)
<p>第6条 本会に次の役員を置く。</p> <p>(1)会長 1名</p> <p>(2)副会長 2名</p> <p>(3)事務局長 1名</p> <p><u>(4)会計 1名</u></p> <p>(5)理事 30名以内</p> <p>(6)監事 2名</p>	<p>第6条 本会に次の役員を置く。</p> <p>(1)会長 1名</p> <p>(2)副会長 2名</p> <p>(3)事務局長 1名</p> <p><u>(4)理事 30名以内</u></p> <p><u>(5)監事 2名</u></p>
第7条～第14条(略)	第7条～第14条(略)
<p>第15条 専門部会は、総会で決定された方針に基づき事業を実施するものとし、<u>次の専門部を設置する。</u></p> <p><u>(1)開発交流部</u></p> <p><u>(2)環境安全部</u></p> <p><u>(3)健康福祉部</u></p> <p><u>(4)地域振興部</u></p> <p>2 専門部会は、本会の構成員で構成する。</p>	<p>第15条 専門部会は、総会で決定された方針に基づき事業を実施するものとし、<u>役員会の承認で設置することができる。</u></p> <p>2 専門部会は、本会の構成員で構成する。</p>

第4号議案

たかねまちづくり協議会役員の改選について

たかねまちづくり協議会役員の改選について、別紙のとおり承認を求めます。

平成29年4月16日 提出

平成29年4月16日 承認

たかねまちづくり協議会役員(案)

No.	集 落	氏 名	役職	備考
1	高 根	板 垣 一 利	理事	
2		遠 山 充	交流部副部長	
3		遠 山 圭一郎	理事	
4		遠 山 盛 徳	理事	
5		野 村 まちみ	理事	
6		鈴 木 春 生	理事	
7	北 大 平	鈴 木 健太郎	理事	
8		宇 鉄 正 夫	理事	
9		鈴 木 キ コ	監事	
10	関 口	園 部 清 貴	理事	
11		小 川 寿 幸	理事	
12		貝 沼 純	監事	
13		佐 藤 美菜子	理事	
14		海 沼 初 夫	理事	
15	黒 田	和 田 壽 久	会長	
16		小 池 広 幸	理事	
17		斎 藤 美 子	理事	
18	中 原	岩 沢 邦 夫	事務局長	
19		鈴 木 浩 美	理事	
20		鈴 木 利 文	理事	
21		鈴 木 真 実	理事	
22		鈴 木 拓 実	理事	
23	薦 川	小 田 元一郎	副会長	
24		板 垣 由美子	理事	
25		小 田 弘	交流部長	
26	朝日中野	井 上 恵美子	広報部副部長	
27		小 柳 清 一	理事	
28		小 野 肇	理事	
29	岩 沢	斎 藤 元	副会長	
30		高 橋 威	理事	
31		本 間 健 二	環境福祉部長	
32		斎 藤 厚 子	環境福祉部副部長	
33		佐 藤 道 子	理事	
34		飯 沼 聡	広報部長	

第5号議案

平成29年度たかねまちづくり協議会事業計画案について

平成29年度たかねまちづくり協議会事業計画案について、別紙のとおり承認を求めます。

平成29年4月16日 提出

平成29年4月16日 承認

平成29年度たかねまちづくり協議会事業計画(案)

区分	事業名・取組項目	実施時期	対象人員	取組内容	備考
広報部	(1) 情報発信事業				
	①たかねまちづくり通信の発行	年4回 (6, 10, 12, 3)	全世帯	協議会の取組状況などを紹介する広報誌を年4回発行する。	
	(2) 地域情報発信手法研究事業				
	調査研究	年間	高根地域	効果的な情報発信の手法を研究する。	
交流部	(1) 地域全体の交流イベント				
	①お宝冊子を活用したイベント	年間	高根地域	お宝冊子を活用したイベントの研究	
	②天蓋高原夏祭りへの参加	8月上旬	高根地域	高根フロンティアクラブ主催の天蓋高原夏祭りに参画する。	
	③たかねまちづくりふれあい交流広場	10月中旬	高根地域	朝日みどり小学校作品展に併せて食のイベントを開催する。	
環境福祉部	(1) 高齢者元気事業				
	①地域の茶の間支援事業	4月～2月	高根地域	各集落の地域の茶の間を支援する。	
	(2) 地域ふれあい事業				
	①笑顔であいさつ運動	4月、8月、10月	高根地域	年度初め、夏休み明け、朝日みどり小学校作品展で児童の安全見守りとあいさつ運動を行う。	
	②地域みんなでラジオ体操	7月～8月	高根地域	夏休みに子どもたちが行うラジオ体操に地域で参加する。	
	(3) 環境美化事業				
①環境パトロール&クリーン作戦	4. 16(日)	高根地域	各集落でのゴミ拾いに加え、危険箇所などのパトロールを行う。		

区分	事業名・取組項目	実施時期	対象人員	取組内容	備考
協議会	(1)集落支援事業				
	①集落活性化支援助成金事業	5月～3月	全8集落	集落の行事に対して開催経費の2分の1の額を助成する。	
	(2)研修事業				
	①役員研修事業	未定	構成員	協議会役員のスキルアップ研修を行う。	
	(3)連携事業				
	①連携事業の推進	年間	朝日地区	あさひまつりへの参画ほか、他協議会との連携事業を推進する。	
	(4)その他事業				
	①地域課題研究事業	年間	高根地域	様々な地域課題解決のための研究活動を行う。	

第6号議案

平成29年度たかねまちづくり協議会収支予算案について

平成29年度たかねまちづくり協議会収支予算案について、別紙のとおり承認を求めます。

平成29年4月16日 提出

平成29年4月16日 承認

様式第4号（規則第6条関係）

平成29年度 たかねまちづくり協議会収支予算書（案）

収 入

（単位：円）

区 分	本年度	前年度	比 較	説 明
1 地域まちづくり交付金	2,220,000	2,243,000	△ 23,000	市地域まちづくり交付金
2 繰越金	340,000	311,037	28,963	平成28年度からの繰越金
3 繰入金	0	1,150,373	△ 1,150,373	お宝再冊子発行基金繰入
4 雑入	30,000	25,963	4,037	預金利子、冊子売上料
合 計	2,590,000	3,730,373	△ 1,140,373	

支 出

（単位：円）

区分	事 業	本年度	前年度	比 較	説 明
1	広報経費（広報部）	240,000	230,000	10,000	
	1 地域情報誌発行事業	230,000	230,000	0	まちづくり通信発行
	2 地域情報発信研究事業	10,000	0	10,000	情報発信手法の研究
2	地域交流経費（交流部）	600,000	1,730,373	△ 1,130,373	
	1 地区交流事業	600,000	510,000	90,000	ふれあい交流広場等
	2 お宝冊子編集事業	0	1,220,373	△ 1,220,373	
3	環境福祉経費（環境福祉部）	340,000	550,000	△ 210,000	
	1 環境美化事業	180,000	300,000	△ 120,000	環境パトロール&クリーン作戦
	2 地域ふれあい事業	80,000	170,000	△ 90,000	あいさつ運動、ラジオ体操
	3 高齢者元気事業	80,000	80,000	0	地域の茶の間支援
4	集落活動支援経費	400,000	410,000	△ 10,000	
	1 集落活性化支援事業	400,000	410,000	△ 10,000	集落行事への支援
5	研修経費	100,000	150,000	△ 50,000	
	1 人材育成研修事業	100,000	150,000	△ 50,000	協議会役員の研修
6	組織運営経費	901,000	580,000	321,000	
	1 報償費	270,000	200,000	70,000	協議会役員報償費
	2 需用費	200,000	150,000	50,000	事務用消耗品、食糧費等
	3 役務費	10,000	20,000	△ 10,000	振込手数料
	4 使用料及び賃借料	10,000	10,000	0	会場等借り上げ料
	5 備品購入費	240,000	100,000	140,000	備品購入費
	6 負担金	171,000	100,000	71,000	会議等負担金、連携事業負担金
7	予備費	9,000	80,000	△ 71,000	
	1 予備費	9,000	80,000	△ 71,000	予備費
	合 計	2,590,000	3,730,373	△ 1,140,373	

予算の補正、流用については会長に一任する。

《参考資料》

(条例第5条関係)

たかねまちづくり計画



平成24年3月
たかねまちづくり協議会

たかねまちづくり計画

1 はじめに

平成20年4月に、村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5つの市町村が合併し、新村上市が誕生しました。

村上市では平成21年度に第1次村上市総合計画が策定され、市の将来像を「元気“eまち”村上市」と定め、将来像を実現するための重点戦略を「定住の里づくり」と位置付けました。定住の里づくりは、若者から高齢者まで安心して暮らすことのできる“元気で魅力ある地域づくり”を目指すものです。



これまで村上市の各地域では、自治会（集落）、公民館、老人会、婦人会、PTA、防災組織、福祉ボランティア、趣味のサークルなどがさまざまな活動をしてきました。しかし、人口減少や過疎化、少子高齢化が進むなかで、地域活動や組織そのものが継続困難な状況になりつつあります。また、県下一広大な面積を有する村上市には、多種多様で優れた財産や特色ある風土が存在していますが、行政の一律・画一的なやり方では、地域の特性を十分に活かしきれなくなる可能性があります。

こうした課題を解決するため、地域に暮らす人たちが一体となり、意見を出し合い、ともに協力して活動し、地域の活性化・元気づくりを進める組織として、旧5市町村の実情に合わせたまちづくり組織が設立されることになりました。

朝日地区においては、昭和の大合併前の旧村単位である5つの地域で、まちづくり協議会を組織することになり、平成23年5月にそれぞれの地域で区長会による「まちづくり協議会設立に向けた発起人会」を立ち上げました。

その後、当高根地域は、平成23年10月6日、「高根地域まちづくり協議会設立準備会」を発足させ準備を進めてまいりました。6か月という短い期間ではありましたが、延べ9回の会議（内5回はワークショップ）を経て、この度、いよいよ、「たかねまちづくり協議会」を設立する運びとなりました。

たかねまちづくり協議会では、地域の個性や魅力を活かし、子供から高齢者までの全ての方が、安心して暮らせる、「ここに住み続けたい」「ここに住んで良かった」と実感できるまちづくりを進めていきます。そのために、地域住民の皆さんと将来目標を共有し、私たちが向かうべき方向を示すものとして「たかねまちづくり計画」を策定します。

2 地域の現状、課題

◆住民交流

- それぞれの集落においては昔からの祭りや行事が大切に守られ受け継がれてきました。しかし、若い世代の価値観や生活様式の多様化、少子高齢化の進展により、歴史とともに築き上げてきた伝統文化を保存し継承することが難しくなりつつあります。
- ここで暮らす人々は思いやりややさしさに溢れ、大人から子供まで気持ちよくあいさつを交わしています。また、高齢化の波にも負けずお年寄りは生きがいを持ち元気に暮らしています。しかし、高齢化や定住人口の減少から、集落の共同作業などに支障が出始めているところもあります。



◆自然環境

- 美しい自然に囲まれ、川や山の恩恵を受けながら生活を営んできました。反面、冬期間の降雪量が多く、特に高齢者にとっては厳しい環境になります。また、道路脇や空き地等にゴミや空き缶が捨てられ景観が損なわれてきています。

◆農業環境

- 豊かな自然の中で育まれた美味しいお米や新鮮な野菜があり、家庭の食卓へとつながっています。一方で、鳥獣被害が多発し耕作できない畑が増えています。また、農業経営の不振から後継者が減少し、今後は農業者の高齢化により耕作放棄地の増加も予想されます。



◆生活環境

- 朝日地区のほぼ中心部に位置し公共施設が身近にあり利用しやすい立地条件にあります。反面、医療機関や商店が少なく、これから、高齢化が進み、自動車を運転できなくなる人が増えると予想され、高齢者の足の確保が心配されます。

3 地域まちづくりの理念、将来像（目標年度：平成33年度）

「互いに支え合って固有の自然や歴史文化を守り、暮らしやすい地域環境をつくる。」を理念にかかげ、次の5つの将来像を達成するためにまちづくりを進めます。

- 一、美しい山村の景観を守る取り組みが行われ、それに伴って人々が集まっている。
- 一、伝統文化がしっかりと保存・継承・PRされる地域になっている。
- 一、人と地域とのつながりを大切に、健康でいつまでも安心して暮らせる地域になっている。
- 一、地域内外の交流事業がたくさん行われ、若者の定住促進も進んでいる。
- 一、地域内の仕事が増え、雇用の場が増えている。

4 具体的な取組みの方向性、実施事業等(計画年度:平成24年度~平成33年度)

基本方針	取組みの方向性や実施する事業
地域資源調査を行い、その結果を情報発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の宝物を調査研究してまとめ、それを情報発信する。 ・地域の伝統文化を学び、伝承するための学習機会をつくる。
地域の人々が相互の交流と理解を深めるための場や歌をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体が交流できる新たなイベントや場を創設する。 ・地域の元気ソングを作る。 ・既存の事業を利用して地域交流を図る。 ・郷土料理を活かした交流の場をつくる。
美化活動を推進し、美しい自然や景観を守る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「たかね美化の日」を設けゴミ拾いや草刈りをする。 ・たかね花いっぱい運動を行う。 ・環境パトロールを行う。
地域防災の仕組みを具体化させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップをつくり、定期的な避難訓練を行う。 ・防犯パトロールを実施する。
支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のための助け合い活動を具体化する。 ・地域の茶の間の活用拡大を図る。 ・健康維持のための体力づくり運動を展開する。 ・子供が安心して遊べる場所をつくる。 ・地域をあげてあいさつ運動を実施する。 ・通学ボランティアなどにより子供の安全を見守る。
農業振興を図り、若者の定住に繋がる取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が農業体験を行う機会を増やす。 ・若者が出会うための縁結びイベントを行う。 ・直売所や観光農園を開設し、特産品が並ぶイベントを開催する。 ・鳥獣被害対策として定期的にパトロールを行う。

5 事業計画年度（実施年度：平成 24 年度～平成 33 年度）

区分	基本方針	事業項目	実施年度										備考
			24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
開発交流	地域資源調査を行い、その結果を情報発信する。	・地域の宝物を調査研究してまとめ、それを情報発信する。	▶										重点施策
		・地域の伝統文化を学び、伝承するための学習機会をつくる。	▶										
	地域の人々が相互の交流と理解を深めるための場や歌をつくる。	・地域全体が交流できる新たなイベントや場を創設する。	▶										
		・地域の元気ソングを作る。	▶										
環境安全	美化活動を推進し、美しい自然や景観を守る。	・「たかね美化の日」を設けゴミ拾いや草刈りをする。	▶										重点施策
		・たかね花いっぱい運動を行う。	▶										重点施策
		・環境パトロールを行う。	▶										
	地域防災の仕組みを具体化させる。	・防災マップをつくり、定期的な避難訓練を行う。	▶										
・防犯パトロールを実施する。		▶											
健康福祉	支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。	・高齢者のための助け合い活動を具体化する。	▶										
		・地域の茶の間の活用拡大を図る。	▶										重点施策
		・健康維持のための体力づくり運動を展開する。	▶										
		・子供が安心して遊べる場所をつくる。	▶										
		・地域をあげてあいさつ運動を実施する。	▶										重点施策
		・通学ボランティアなどにより子供の安全を見守る。	▶										重点施策
地域振興	農業振興を図り、若者の定住に繋がる取り組みを行う。	・若者が農業体験を行う機会を増やす。	▶										
		・若者が出会うための縁結びイベントを行う。	▶										
		・直売所や観光農園を開設し、特産品が並ぶイベントを開催する。	▶										重点施策
		・鳥獣被害対策として定期的にパトロールを行う。	▶										重点施策
集落支援	・地域内の集落事業に助成金を交付し、集落の活性化を図る。	・集落活性化支援事業	▶										

平成29年度 たかねまちづくり協議会役員名簿

No.	役 職	氏 名	集 落	備考
1	会 長	和 田 壽 久	黒 田	
2	副 会 長	斎 藤 元	岩 沢	
3	副 会 長	小 田 元一郎	薦 川	
4	事 務 局 長	岩 沢 邦 夫	中 原	
5	広 報 部	部 長	飯 沼 聡	岩 沢
6		副 部 長	井 上 恵美子	朝日中野
7			遠 山 圭一郎	高 根
8			鈴 木 健太郎	北 大 平
9			貝 沼 純	関 口
10			佐 藤 美菜子	関 口
11			鈴 木 真 実	中 原
12			板 垣 由美子	薦 川
13			高 橋 威	岩 沢
14			佐 藤 道 子	岩 沢
15	交 流 部	部 長	小 田 弘	薦 川
16		副 部 長	遠 山 充	高 根
17			遠 山 盛 徳	高 根
18			鈴 木 キ コ	北 大 平
19			小 川 寿 幸	関 口
20			園 部 清 貴	関 口
21			斎 藤 美 子	黒 田
22			鈴 木 利 文	中 原
23			鈴 木 浩 美	中 原
24			小 野 肇	朝日中野
25	環 境 福 祉 部	部 長	本 間 健 二	岩 沢
26		副 部 長	斎 藤 厚 子	岩 沢
27			板 垣 一 利	高 根
28			野 村 まちみ	高 根
29			鈴 木 春 生	高 根
30			宇 鉄 正 夫	北 大 平
31			海 沼 初 夫	関 口
32			小 池 広 幸	黒 田
33			小 柳 清 一	朝日中野
34			鈴 木 拓 実	中 原

平成29年度 たかねまちづくり協議会評議委員・代議員名簿

No.	役 職	氏名	集落	備考	
1	評議委員	相 馬 忠 男	高 根	高根区長	
2		宇 鉄 憲 一	北 大 平	北大平区長	
3		佐 藤 健 吉	関 口	関口区長	
4		板 垣 壽 弘	黒 田	黒田区長	
5		鈴 木 美 彦	中 原	中原区長	
6		今 井 茂	朝日中野	朝日中野区長	
7		板 垣 和 行	薦 川	薦川区長	
8		飯 沼 和 英	岩 沢	岩沢区長	
1	代議員	高根	遠 山 政 好	高 根	
2			遠 山 眞佐美	高 根	
3			鈴 木 友 吉	高 根	
4			鈴 木 正 二	高 根	
5			板 垣 圭	高 根	
6			遠 山 一 夫	高 根	
7			遠 山 紀 子	高 根	
8		北大平	鈴 木 洋 一	北 大 平	
9			宇 鉄 大 博	北 大 平	
10			鈴 木 新 一	北 大 平	
11		関口	貝 沼 四 郎	関 口	
12			海 沼 順 一	関 口	
13			佐 藤 多 悦	関 口	
14			佐 藤 了	関 口	
15			園 部 堅 一	関 口	
16			小 田 哲 司	関 口	
17		黒田	鈴 木 重 彦	黒 田	
18			難 波 義 之	黒 田	
19			小 池 裕 一	黒 田	
20			大 田 保	黒 田	
21			大 田 光 明	黒 田	

No.	役 職	氏名	集落	備考	
22	代議員	中原	鈴木 昭 夫	中 原	
23			鈴木 郁	中 原	
24			岩 沢 弘	中 原	
25			岩 澤 廣 榮	中 原	
26			岩 沢 和 英	中 原	
27			鈴木 雅世志	中 原	
28		朝日中野	熊 谷 一 弘	朝日中野	
29			小 室 慶一郎	朝日中野	
30			市野瀬 長 一	朝日中野	
31		薦川	小 田 一 男	薦 川	
32			小 田 進	薦 川	
33			板 垣 繁	薦 川	
34		岩沢	飯 沼 重 勝	岩 沢	
35			大 場 良 一	岩 沢	
36			斎 藤 孝	岩 沢	
37			本 間 登	岩 沢	
38			本 間 孝 夫	岩 沢	
39			飯 沼 勇	岩 沢	
40			本 間 利 一	岩 沢	